

協 同 組 合 論

中 川 雄一郎

私の講義は次の三つの研究を柱にしている。

- (1) 日本における協同組合の理論——その批判と検討
- (2) 協同組合の歴史と思想
- (3) 日本における協同組合運動の現状

(1)については、抽象的、理論的段階での協同組合の本質を究明するために、協同組合の客観的、経済的機能を確認しようとするものである。(2)は、この協同組合の理論の検討を基礎として、歴史的、具体的な協同組合の展開を協同組合思想（主に、イギリス協同組合思想）に焦点をあて、協同組合の理論と歴史の対応を通しての協同組合の本質を把握する。(3)は、(1)と(2)で得られた理解に基づいて、協同組合運動が置かれている状況を経済政策や農業政策との関連で把握、農協や生協の運動の方向を探ってみようとするものである。理論と歴史と実践、という具合に、協同組合論は多岐にわたるけれども、講義では「一本の筋」とでもいうべきものを考慮していきたいと思っている。